

# 委員会 レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は第6回定例会において報告しました。

※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

## 総務産業常任委員会 調査報告

### ① 町営牧場の現状と対策について

① 町営牧場の現状と対策について  
夏期入牧を控えている町営牧場の運営状況と災害復旧対策を確認するため調査を行った。本年の入牧申込状況は例年並みであるが、昨年の台風により被害を受けて、使えないと断念した面積が150.9ヘクタールある。その分は北清水の舎飼施設でカバーするとし、餌については前年度の繰越飼料と本年度の購入飼料で対応し、収穫時までもたせたいとされているが、受入頭数は若干減らさざるを得なく、本年度の入牧頭数は2100頭を見込んでいます。今後においては計画

### ② 防災会議の取り組みについて

的に環境整備を行い、牛の質の向上を目指していくべきで、コストの低減や労働力の軽減など求められる期待は大きく、町営で維持していくのが可能化を図っていくのを議論する時期にきている。併せて農業研修の場や農場体験の場を含めた働く場の確保策など、酪農振興策の一環として牧場の位置づけを協議するような組織づくりも必要と思われる。



北清水の町営育成牧場内にある舎飼施設の一つ

### ② 防災会議の取り組みについて

昨年、台風災害を受けて、地域防災計画の見直しを行うこととなるが、その際には防災会議が開かれ審議され

## 厚生文教常任委員会 調査報告

### 高齢者世帯の現状と課題について

本町における高齢者世帯数の推移や支援事業の現状と課題、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の方向性について、調査を実施した。総人口は減少しているが高齢者世帯数は少しずつ増えてきており、担当課では高齢者世帯を行政区ごとの名簿で把握している。しかし、

実態と異なる場合もある。担当課では保健師やケアマネージャーの相談業務の際に正確な実態の把握をしているとのこと。委員からは、「高齢者の状況は隣近所でも分からないことがある。災害のことなどを踏まえると、町内会が高齢者世帯の状況を把握することが一番大事」、「町

内会内での出入りの状況が把握されていないこともある。ひとり暮らしの高齢者等が増える中、孤立化の心配などがあり、町内会との連携を密にした対応が必要」との意見があった。担当課からは、「災害時における隣近所の助け合いの必要性は認識しているが、町内会への未加入者が多くなってきたりすることや町内会の加入実態をすべ



保健福祉課の職員から説明を受けて調査を実施

て把握することは個人情報保護の面からも難しい問題があるので、町内会への高齢者世帯情報の提供のあり方については、町民生活課

などの関係課と相談しながら、よりよい方法を検討したい」との説明があった。地域包括ケアシステムの推進が今後の重要な柱とされ、災害時も含めて地域における互助体制づくりが重要となっていくことから、隣近所同士のコミュニケーションを高めるに当たって、高齢者世帯情報の把握のあり方は重要な課題として押さえる必要がある。

## アンケート集計結果 (前ページのつづき)

Q12.「議会報告会と町民との意見交換会」のお気づきの点、ご意見・ご要望などをお書きください。

- ① 要望などには時間を延長しても納得できる答えを出してほしい。
- ② 大変良かったと思います。頑張ってください。
- ③ 意見を述べていた方たちは、この意見交換会ではなくても話れる人だと思えます。アンケートの中に「テーマについて言いたいことは？」などを入れても良いと思います。
- ④ 議会には多くの町民から要望があると思えます。意見交換のテーマについては、多くの他の町民の意見を求めるテーマを選んでください。
- ⑤ 一部の議員が後ろでしゃべっている。話を聞いている時に邪魔になって議論が聞こえない時があった。全員前にいたほうがいい。
- ⑥ 芽室町の議員の方が中心となり、昨年の災害をレポートにした本が出されました。清水のほうがもっと書き残さなければいけないことが多いと思います。前向きにポジティブに活動していただきたいと思えます。
- ⑦ 行政とひとくくりに、つい私たちは思いますが、しかし、これは道、これは町、これは国と縦割りにして逃げることをさせず、横断型で対応策を作成しないと、いつまでも何事も解決しないと思えます。責任転嫁を互いにして、住民にプラスにならないことについては、生じさせないことが議会としても働きかけるべきですね。行政も議会も構成員の多くは「住民」でもあるわけです。公人として、私人として、住民目線や弱者の視点でものを考えないと町は良くなりません。また、政策についても「PDCA」のサイクルと、専門の知識を持った住民も含めた「知」と「住民のためになる」ことをしなければ何も変わりません。住民生活を支える大切な機能を果たすためには、常に「パブリックコメント」を受け付けるような「目安箱」的なものは必要かと思えます。コンパクトな町、様々な課題やお金の問題もあるとは思いますが、今のままでは何のカラーも特色もない町で、最後は夕張のようになることは目に見えます。様々な年代、生活状況の方が主体とならないと「まちづくり」はできません。このままだと正直明るい未来は望めません。人口流出や産業衰退しか道はありません。それを肝に銘じてもらわないと、議会も行政も話し合っている、都合のよい形で進めているという誤解を招きます。「モノ」を整えるだけの政策ではなくて、メリットのある政策ができる戦略集団で行政も議会もあるべきですね。心配なのはこういう場にしてても、議会の構成員の方の高齢化がとて思いますが、「行動」できる世代を育てないと地域は持続していかなくなります。
- ⑧ 3年目(4年目)になるかと思いますが、進行も大分慣れてきたように感じます。一方で責任を追及するような意見が長く続くことが若干ながら気にかかります。場を変えて処理しないと時間が足りなくなります。
- ⑨ テーマを設定しないほうが良いと思います。

## 人事

### 農業委員会委員の任命に同意

農業委員の任期満了に伴い、次期農業委員の任命に同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は提案された17名全員について任命に同意しました。

なお、農業委員に任命された方は次のとおりです。

高橋 雅典さん(上清水)	鳥羽 昌勝さん(本村)
三好 豊さん(中羽帯)	梶山 貴史さん(人舞3)
細野 輝行さん(北熊牛)	澤口 貴さん(北清水)
土井 正志さん(下佐幌平成)	氷見 隆雄さん(中美蔓2)
石田 統さん(下佐幌平和)	中村 清孝さん(元旭山)
澁谷 貴法さん(東高台)	上谷 雅俊さん(富士)
藤田 卓芳さん(人舞共栄)	中村 勝則さん(昭和)
相根 隆雄さん(讃岐)	石井 照江さん(西文化)
木幡 宗一さん(下美蔓2)	

※法の改正により、今回から農業委員の選出方法が町長の任命制となっています。

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、新たに小竹浩之さん(柏木)を選任することについて同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



小竹浩之 氏



新体制による農業委員会総会の様子(7月20日)

## 閉会中の委員会活動

### 総務産業常任委員会

- ・産業人材の確保について
- ・農作物の生育状況について
- ・その他所管に関する事項について

### 厚生文教常任委員会

- ・広域ごみ処理の検討状況について
- ・その他所管に関する事項について

### 議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について